



サイ

ホーム

県内ニュース

スポーツ

社説

連載

観光

グルメ

健康・医療

福島を走る

たすきつなぎ現状『実感』 南相馬市「避難解除」復興祈念駅伝

2018年04月01日

いいね! 6

シェア

ツイート

0

G+



声援を受けゴールする参加者。前方右はゲストランナーの増田さん＝31日、浪江町

南相馬市と東京電力福島第1原発事故による避難指示が帰還困難区域を除いて昨年3月末に解除された浪江町を1本のたすきでつなく南相馬市"避難解除"復興祈念駅伝が31日、南相馬市鹿島区から浪江町までの31.7キロコースで行われた。ランナーやスタッフなど約80人が参加し、復興が進む両市町の現状を実感していた。

駅伝は2017（平成29）年3月に初開催された際、南相馬市鹿島区のJR常磐線鹿島駅から同市小高区のJR小高駅まで19キロのコースを3区に分けて行われた。南相馬市とともに浪江町にも明るさと気力を届けようと今回は同町まで距離を伸ばし、4区に分けてたすきをつないだ。

参加ランナーは南相馬市鹿島区のみちのく鹿島球場を出発、浪江町役場に隣接する仮設商業共同施設「まち・なみ・まるしえ」を目指し、力走を繰り広げた。スポーツジャーナリストの増田明美さんがゲストランナーとして参加し、参加者たちと交流した。

県内出身の司法書士仲間に声を掛けられ、参加した司法書士の男性（62）＝東京都＝は「初めて相双地方を訪れた。復興が進んでいるところ、進んでいないところを

おすすめ



COFFEE



相続手続きサポートセンター



相続手続きを全て代行
税理士・司法書士・行政書士が
在籍しているから安全確実

① × 肌で感じた。来年以降ももっと多くの仲間に声を掛け参加したい」と話した。駅伝を主催した南相馬市のランニング任意団体「チームM4」のメンバーで、実行委員を務める同市立総合病院医師の小鷹昌明さん（50）は「来年以降も開催したい」と多くの参加を喜んだ。

ホーム スポーツ 福島を走る

- たすきつなぎ現状『実感』 南相馬市「避難解除」復興祈念駅伝 (2018/04/01)
- 「郡山市なかまち子ども夢駅伝」4月14日から出場受け付け開始 (2018/04/01)
- 「奥川健康マラソン」4月1日から受け付け開始 6月17日号砲 (2018/04/01)
- 「いわきサンシャインマラソン」第10回大会は2月10日号砲 (2018/03/30)
- 信夫山の魅力を体感しよう 5月27日「パークランニング」 (2018/03/30)
- 「猪苗代湖ハーフマラソン」大会終了が決定 福島復興へ7年間 (2018/03/29)
- 走力強化へ札幌国際大が「田村合宿」下重監督の縁で11人参加 (2018/03/28)
- 起伏あるコースで藤宮さん中学男子V たむらクロスカントリー (2018/03/28)
- 一般女子5.3キロは小沢が初優勝 霞ヶ城クロスカントリー (2018/03/26)
- 「野馬追マラソン」12月2日に号砲 ハーフマラソンなど32種目 (2018/03/24)

あなたにオススメ

Recommended by

- 聖光学院、12
- 聖光学院 崩す
- 聖光学院 負強さ
- 聖光学院 まる
- 聖光学院 舞台
- 「センバツ 紀梓
- 【 出場36
- 聖光学院 破る
- 聖光学院 点」
- 聖光学院 下す
- 聖光学院 ルド
- 聖光学院 好投
- 【 組み合
- 聖光学院 鳥県大会
- 【 組み合
- 【 組み合 部大会」
- 聖光学院 4-6
- 聖光学院 -4